

都市再生整備計画 事後評価シート  
北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅周辺地区

平成30年2月

富山県黒部市

様式2-1 評価結果のまとめ

都道府県名	富山県	市町村名	黒部市	地区名	北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅周辺地区		面積	925ha
交付期間	平成25年度～29年度	事後評価実施時期	平成29年度	交付対象事業費	1,110.9百万円	国費率	0.389	

1) 事業の実施状況	当初計画に位置づけ、実施した事業		事業名		
	基幹事業	提案事業	道路(市道西町両瀬線、市道西町中坪線、市道舌山栗林線、市道地鉄新駅交通広場線)、公園(宮野運動公園)、地域生活基盤施設(駐車場、地鉄新駅前駐輪場)、高次都市施設(新幹線新駅東口広場整備、新幹線新駅西側整備(キャノピー)、新幹線新駅東西連絡通路)		
			(仮)地域観光ギャラリー展示空間、地鉄沿線活性化事業、新駅周辺エントランス交流促進事業、事業効果分析調査		
			事業名	削除/追加の理由	削除/追加による目標、指標、数値目標への影響
当初計画から削除した事業	基幹事業	道路(市道舌山愛川線)、地域生活基盤施設(サイン設置)、高質空間形成施設(地鉄駅前交通広場(キャノピー)、新幹線新駅西側トイレ、黒部川桜つづみトイレ)	別事業を優先、又は別事業として実施するため削除		影響なし
	提案事業	農道舌山8号線、生活関連道(若栗地区)、生活関連道(萩生地区)、道路情報発信施設、地鉄新駅南口整備、電気自動車急速充電施設、トロッコ車両購入、コンピューター車両購入、松桜閣トイレ、公共交通情報提供システム整備事業	別事業を優先、又は別事業として実施するため削除		影響なし
新たに追加した事業	基幹事業	道路(市道若栗21号線、市道若栗22号線、市道萩生若栗線)、公園(黒部川公園)、高質空間形成施設(時計台整備、地鉄駅前交通広場トイレ、松桜閣トイレ)	目標達成に効果のある事業を追加		影響なし
	提案事業	地鉄駅前交通広場休憩施設、誘導案内標識整備、シンボルツリー整備、新幹線駅前オブジェ整備、宮野運動公園トイレ、黒部川桜つづみトイレ、新駅周辺防犯設備整備	目標達成に効果のある事業を追加		影響なし
交付期間の変更	当初変更	平成25年度～平成29年度	交付期間の変更による事業、指標、数値目標への影響		-

2) 都市再生整備計画に記載した目標を定量化する指標の達成状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
指標1	新駅周辺の観光施設利用者数	人/年	1,627	H23	2,400	H29	-	7,388	○	あり	天真寺松桜閣の利用者数が大きく増加(1,627→7,101(目標:2,400))しており、指標の目標値達成に貢献している。新幹線開業と同時に駐車場や駐輪場、地鉄新駅などが整備されたことで、黒部宇奈月温泉駅周辺の交通利便性が向上したことも目標達成の要因だと考えられる。	平成30年5月
指標2	沿線イベント参加者数	人/年	420	H23	11,450	H29	-	13,000	○	あり	この評価値は平成29年度の数値を計測できており、目標値を上回る結果が確認できた。新幹線開業の平成26年度は65,950という数値を記録したが、開業効果が薄れることに合わせて徐々に減り続け、平成28年度は音楽イベントが雨天で半減したことで9,580まで減少した。しかし、平成29年度の音楽イベントは晴れて13,000と目標値を上回る持ち直しが見られたため、一定数の定着が確認できた。	-
指標3	沿線乗降客数	人/年	92,232	H23	175,500	H29	-	237,159	○	あり	「地鉄新駅」の乗降客数が目標を大きく上回って148,555(目標:83,400)あり、新幹線開業効果がうまく波及している。一方で、他4駅の乗降客数はやや減少しており、これは「地鉄新駅」に利用者が集中したためだと考えられる。	平成30年5月

3) その他の数値指標(当初設定した数値目標以外の指標)による効果発現状況	指標		従前値		目標値		数値		目標達成度	1年以内の達成見込み	効果発現要因(総合所見)	フォローアップ予定時期
	単位	基準年度	目標年度	モニタリング	評価値							
その他の数値指標1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

4) 定性的な効果発現状況  
 ・北陸新幹線の開業(H27.3.14)当時からイベント数や参加者数、利用人数は一時的な特異値からは減少したが、現在も、NPO団体「にいかわプロモーションオーガニゼーション」をはじめとした市民団体が根付いており、新幹線新駅周辺の活性化が継続されており、継続的な賑わいづくりが感じられる。

5) 実施過程の評価	実施内容		実施状況		今後の対応方針等	
	モニタリング	-	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	-	
	住民参加プロセス	・駐車場(基幹事業/地域生活基盤施設) ・地鉄新駅前駐輪場(基幹事業/地域生活基盤施設) ・新幹線新駅東口広場整備(基幹事業/高次都市施設)	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	・新幹線新駅周辺施設の整備に向けて、地元説明会を平成25年度に18回、平成26年度に4回実施し、各地区振興会や地元住民の意見交換を行った。 ・住民参加型のまちづくりが実施できたことで、現在でも住民から頻りに活用され続けており、指標にあるイベント参加者数や地鉄乗降客数など高い数値が継続して記録できている。
	持続的なまちづくり体制の構築	・新幹線新駅東口広場整備(基幹事業/高次都市施設)	都市再生整備計画に記載し、実施できた	都市再生整備計画に記載はなかったが、実施した	●	・新幹線駅広場において、住民団体「新幹線開業くろべ市民会議」が主体となり、開業イベントを実施。 ・平成28年3月31日より、NPO団体「にいかわプロモーションオーガニゼーション」と名前を変え、駅周辺の賑わいづくりに継続的に取り組んでいる。

## 様式2-2 地区の概要

### 北陸新幹線黒部宇奈月温泉駅周辺地区(富山県黒部市) 都市再生整備計画事業の成果概要

まちづくりの目標	目標を定量化する指標		従前値		目標値		評価値	
	①新駅周辺の観光施設利用者数	単位: 人/年	1,627	H23	2,400	H29	7,388	H29
大目標: 富山県東部地区の玄関口に相応しい、観光と交流の拠点づくり 目標1「観光機能の向上」: 新駅周辺の地域住民や来訪者を魅了する拠点づくりを図る。 目標2「都市の活性化」: 各種事業の実施により、賑わいある地域づくりを図る。 目標3「地方鉄道の利用拡大」: 交通結節機能の強化を図ることで、地鉄線の乗降客数増加を図る。	②沿線イベント参加者数	単位: 人/年	420	H23	11,450	H29	13,000	H29
	③地鉄乗降客数	単位: 人/年	92,232	H23	175,500	H29	237,159	H29

まちの課題の変化	<p>課題の改善状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>新幹線新駅東口広場整備、新幹線新駅西側整備(キャノピー)、新幹線新駅東西連絡通路、駐車場事業等の実施により、新幹線新駅周辺の地域住民や来訪者を魅了する拠点づくりが図られた。</li> <li>新幹線新駅東口広場整備をはじめ、(仮)地域観光ギャラリー展示空間等の実施により、賑わいある拠点づくりが図られた。</li> <li>駐車場等のハード事業や、新駅周辺エントランス交流促進事業等のソフト事業の実施により、交通結節点の機能が向上し、地鉄沿線の魅力が向上したことで、地鉄線の乗降客数増加につながった。</li> </ul> <p>未解決、新たな課題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>継続的なソフト事業の実施</li> <li>主要道路の歩行環境、融雪設備の整備</li> <li>地区人口の減少傾向の抑制</li> </ul>
今後のまちづくりの方策(改善策を含む)	<p>想定される事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>住民と連携したソフト事業の創出</li> <li>新駅周辺エントランス交流促進事業の継続</li> </ul>